

建築ラッシュの続くバンクーバーにてハイクラスコンドミニアムやモダン住宅に多く日本庭園からの様式がデザインにとり入れられている現在、ヨーロッパや中央アジアの庭園などと比較し、日本庭園の特徴やその歴史を作庭者及び研究者の目線より解説、建築デザインをはじめサスティナブルな都市デザインへのヒントに

# 世界に大きく広がり を見せる日本庭園の 魅力や将来について

10月 18日 金曜日 19:00~21:00

Vancouver Gardeners Association 会館

4291 Slocan Street, Vancouver, BC, V5R1Z2



日本は世界に誇れる また庭園またその庭園文化を持っています。

現在の情報伝搬の加速および 容易化にともない 様々な古きよき庭も再認識されてきています。このような宝を守りその伝統また心を伝えていくことは日本人のみならず 世界人類の平和などにも少なからず 寄与しています。

また世界中でも懸念されている地球温暖化や自然環境悪化への認識を高め その対応策として 様々な 環境保全 改善方策が語られてきていますが 日本庭園の生み出す自然包容力はその一環 を担ってきており、心の癒しのためとともにその可能性は大きなものです。

このような日本庭園の保全および 発展に向けては 日本国内外においても様々な活動がこれまでもなされてきました。日本では残念ながら失われた30-40年とも言われる経済の低調が続き その大きな影響が日本庭園にもおし寄せてきており 歴史的な著名な 庭園の喪失や日本庭園を支えてきた産業 そのものも 過去30年において半減してきていると伝えられています。

そのため 海外に生活しております 庭園 関係者（庭師 作庭者 研究者 建築家）などとしてどのように海外において日本庭園への認識 関心を深め 高めていけるのでしょうか。また それは日本国内の実情にもかなったものであり 役立つものなののでしょうか？

講演者 小林竝一Ph.D.  
Seattle より

